

治療体験記

最初は緊張気味だったE.Iさん。
徐々にスタッフとも打ち解け、装置を外した時は本当に素敵な笑顔を見せてくださいました。

あ り が と う

私は小学生の頃から、ガタガタした歯にコンプレックスを持っていました。母に矯正をしたいと相談しても、「お金もかかるし社会人になってから自分でしなさい。」と言われ続けました。笑うとガタガタの歯が見えるから、写真を撮られるのが苦手でした。そんなコンプレックスを抱えていても、矯正を始めるには勇気がいりました。20代後半で歯が動くのも時間がかかるだろうと思っていたのですが、池上先生はインプラント矯正では治療期間はたったの2年間だと説明を聞き、貴院に決めました。

私の場合、親しらずを含め計6本の抜歯をしました。治療を始めた頃、ワイヤーが痛くてご飯が食べられずに辛い思いをしました。うどんさえ硬いと感じたくらいです。でも、月日が経つにつれ、痛みも感じなくなりました。毎月、自分の歯が動いて綺麗になっていくのがわかり、通院も楽しくなりました。

途中、結婚をしまして、結婚式には矯正装置を一時的に外したいというわがままにも応えていただき、ありがとうございました。一時的に装置を外したし、治療期間は当初の2年より伸びるかなと心配していましたが、1年9ヶ月で矯正治療を終えることになりました。池上先生から、「もっとつけていてもいいよ。」と冗談を言われましたが(笑)

先生をはじめスタッフの皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。これからは、矯正治療が終わったので、妊活に頑張りたいと思います(笑)。



治療期間

1年9ヵ月



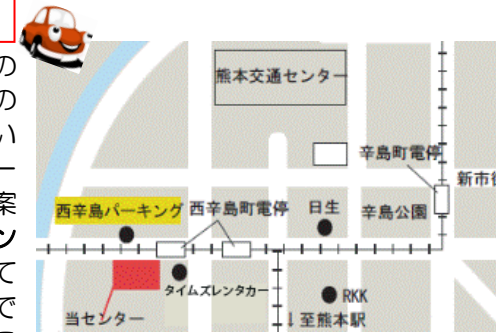
所長より一言

E.Iさんは上、下の小臼歯を2本ずつ、合計4本を抜いて治療を行い、約2年弱で治療を終える事が出来ました。口元も以前より入った感じでスッキリしたと喜んで頂けました。この結果は矯正用のインプラントを用いて、抜歯により出来た片側で7~8mmのスペースを全て利用する事が出来たお陰です。非抜歯(歯を抜かない)治療ではこの結果を得る事は不可能だったでしょう。

お知らせ

西辛島パーキングについて

当センター前の立体駐車場の「西辛島パーキング」が満車の場合があり、ご不便をおかけいたしております。管理センターへ確認したところ、「満車の案内が出ている場合でも、当センターへ通院していると言っただけであれば、優先的に駐車できる場合があります。」とのことでした。ご面倒ですが、満車の場合でも一応係の方へお伝え下さい。



ご注意を!

治療終了後にもう一度、お手回り品のご確認を。かご等の中にハンカチやメガネ、アクセサリ、鍵などのお忘れものにご注意ください。

今後の初診相談日

4月25日(土)、5月9日(土)、23日(土)
6月6日(土)、21日(日)、7月4日(土)、19日(日)
いずれも午前中です。

(初診相談は上記以外の日時や、当日でも予約に空きがあれば受け付けております。)

TOPICS

新しい年度が始まりましたね。新しい環境でスタートする方も多くいらっしゃることでしょう。当センターもフレッシュなメンバーが加わりました。皆さん、よろしくお願いいたします。



やまさき りゅういち

山崎 隆一 先生

未熟な部分があるかと思いますが、安心して治療を受けて頂けるように技術、知識を高めていきたいと思っております。

趣味は、読書とヨガです。

どうぞ宜しくお願い致します。

神奈川歯科大学 大学院卒



つちや るか

土屋 瑠佳(アルバイト)

熊本歯科技術専門学校の2年生です。

平日は、夕方から働いています。

趣味はゲームで特にドラクエシリーズが好きです。

どうぞ宜しくお願い致します。

DREAMS
COME TRUE
2015 SPRING VOL.67

医療法人 熊本歯列矯正センター
池上矯正歯科クリニック
発行人 池上 富雄
〒860-0804 熊本市中中央区辛島町64
TEL:096-325-1776
FAX:096-356-5341
(Homepage)
http://www.koc.or.jp/
(E-mail)
info@koc.or.jp
年3回(春・夏・冬)発行

九州矯正歯科学会学術大会
に参加しました

去る3月7日(土)、8日(日)に長崎市の長崎大学医学部キャンパス内で開催された「九州矯正歯科学会学術大会 第10回記念大会」に池上所長、歯科衛生士の村上、受付の金氏と3名で参加しました。

今大会のテーマは「The Bone(ざぼん)、骨のある矯正の話をしよう—矯正治療の未来に向けて—」でした。

池上所長は1日目の午後、「シンプルで効果的な上顎大臼歯遠心移動装置(Lingual Distalizer)について」という演目で会員発表を行いました。

会場が狭かったせいもあり大入り満員でした。

装置を開発した経緯、装置の作成方法や実際にこの装置を用いて治療した症例を報告しました。



<プログラム・抄録集>



<発表中の池上所長>



<他の発表会場の様子>



<矯正歯科器具や模型の展示>

私達スタッフは、主に矯正歯科材料を取り扱っている商社の展示を見ていました。今回は、他の発表・スライドショーなども自由に閲覧できたので、自分の知りたい情報や他の医院でどのような治療が施されているかなど新たに知ることが出来、大変勉強になりました。



<百万ドル?の夜景>

会期中は2日とも晴天に恵まれ、夜は「日本三大夜景」とも称される稲佐山からの夜景を見ることが出来ました。



<日本歯科大の先生による特別講演の様子>

二日目は私達も接着に関する特別講演を聴きました。新しい材料を使った特殊な治療方法などを知る事が出来、大変勉強になりました。沢山のドクター、衛生士の方々と話す機会もあったのでとても刺激になりました。

矯正マメ知識

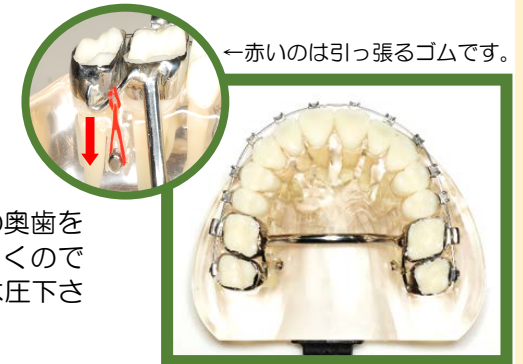


みなさんこんにちは！！歯科衛生士の村上です。
やっと寒い季節が終わり、ほかほかと過ごしやすくなりましたね。(^^)
花粉症の方にはツライ時期ですが・・・頑張って乗り切りましょう。(>_<)

今回のマメ知識は、新しい装置の紹介です！
奥歯は噛んでいるのに、前歯の先が開いたままの方を時々見かけると思います。
「開咬(かいこう)」と言われるタイプの不正咬合(悪い咬み合わせ)です。
その開咬を改善するための装置です！

名前は「Molar Depressor(モラーディプレッサー)」といいます。「Molar=臼歯(奥歯)を Depress=圧下」という意味です。この装置は矯正用インプラントを併用して使う固定式の装置です。

開咬の方は奥歯だけが強く当たっていることがあります。上の奥歯を歯肉の方に圧下させることで前歯の高さと近い状態にしていくのです。前歯ももちろん噛ませるようにしていきますので、奥歯は圧下させて、前歯は少し伸び出させるようにして治していきます。



←赤いのは引っ張るゴムです。

Molar Depressor(モラーディプレッサー)



<開咬の患者さんの初診時の写真>

装置の一部からインプラントに透明のゴムを引っかけて歯肉の方へ圧下(押し込むこと)させます。



<装置が入っている写真>

裏側のバーが上顎に食い込んできているのが分かりますね。始めにバーを上顎より数ミリ浮かせた状態で作成しますので、装置全体が圧下したのが分かります。

治療が終わった状態です。キレイに噛んでいますね。(*_^*)



見た目は「痛そう・・・」と感じるかもしれませんが、外からはほぼ見えませんし意外とすぐ慣れるのでその後は気にならなくなります。(^^) 慣れるまでは少し喋りにくい、ということはあるみたいです。開咬でお悩みのお友達などいたら、ぜひ「こんな装置があるよ～」と紹介してあげてくださいね。(^^)